

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【公開番号】特開2012-40278(P2012-40278A)

【公開日】平成24年3月1日 (2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2010-185817(P2010-185817)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月23日 (2013.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種の絵柄を循環表示させる循環表示手段と、
前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、
役の抽選を行う抽選手段と、
前記絵柄の循環表示を停止させるべく操作される停止操作手段と、
前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に所定の組合せを形成して停止したことに基づいて、入賞成立として遊技者に特典を付与する特典付与手段とを備えた遊技機において、

第 1 遊技状態よりも遊技者に有利な第 2 遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、
前記第 2 遊技状態下で前記役の抽選結果が第 1 結果となった場合、特別特典を付与するか否かを判定する第 1 判定手段と、

前記第 1 判定手段の判定結果を記憶する第 1 記憶手段と、

前記第 2 遊技状態下で前記役の抽選結果が第 2 結果となった場合、前記特別特典を付与するか否かを判定する第 2 判定手段と、

前記第 2 判定手段の判定結果を記憶する第 2 記憶手段と、

前記第 1 記憶手段又は前記第 2 記憶手段に前記特別特典を付与すると判定したことを示す付与判定情報が記憶されている場合、前記第 2 遊技状態の終了後に前記特別特典を付与する特別特典付与手段と、

前記第 2 遊技状態が終了したことに基づいて、複数の遊技回によって構成されるとともに所定の補助演出が実行される演出期間を設定する演出期間設定手段と、

前記特別特典付与手段が前記特別特典を付与する場合、前記演出期間に前記特別特典を付与することを示唆する付与示唆演出を実行する付与示唆演出実行手段とを備え、

前記第 2 判定手段が前記特別特典を付与すると判定する確率が、前記第 1 判定手段が前記特別特典を付与すると判定する確率よりも高くなるよう、前記第 1 判定手段及び前記第 2 判定手段を構成し、前記付与示唆演出実行手段を、前記特別特典付与手段が前記第 1 記憶手段の記憶結果に基づいて前記特別特典を付与する場合、前記演出期間の第 1 遊技回に前記付与示唆演出を実行し、前記特別特典付与手段が前記第 2 記憶手段の記憶結果に基

いて前記特別特典を付与する場合、前記演出期間の前記第 1 遊技回よりも後の第 2 遊技回に前記付与示唆演出を実行する構成としたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 判定手段及び前記第 2 判定手段は、前記特別特典を複数回付与すると判定し得るものであって、前記第 1 判定手段が前記特別特典を付与すると判定した場合に期待できる前記特別特典の付与回数と、前記第 2 判定手段が前記特別特典を付与すると判定した場合に期待できる前記特別特典の付与回数と、が異なることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 記憶手段に前記付与判定情報が記憶されていない場合、前記第 1 遊技回に前記付与示唆演出と異なる演出を実行する演出実行手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 2 遊技状態が終了したことに基づいて、1 遊技回における遊技媒体の付与される期待値が 1 遊技回あたりに必要な遊技媒体数よりも大きくなる第 3 遊技状態に移行させる移行手段を備え、前記演出期間設定手段は、前記第 3 遊技状態における所定回数の遊技回を前記演出期間として設定することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。